

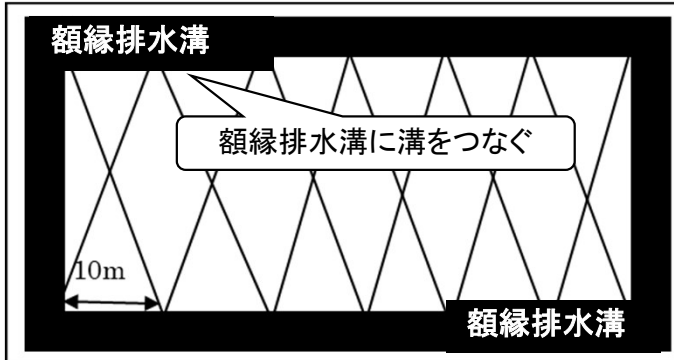
令和 4 年 9 月  
J A 能 美

(裏面に続く)

## ②耕盤・心土破碎の実施

### ＜サブソイラ(弾丸暗渠)による排水対策＞

- ・サブソイラ(弾丸暗渠)を用いることで、湿害の原因となる硬盤を破碎し、水の縦浸透が良くなります。
- ・サブソイラにより弾丸暗渠を施工したほ場の多くでは排水性が向上し、麦では、苗立の向上や茎数(穂数)の確保、登熟の向上等の効果が現れています。
- ・本暗渠がない場合、十分に深く施工した額縁排水溝と弾丸暗渠を繋げることで、下方に浸透した水が暗渠から排水溝を経て排水口に流れます。



(弾丸暗渠の施工方法)



(弾丸暗渠の施工の様子)

## ③表面排水の強化

### ＜ほ場内排水溝の溝を多く施工＞

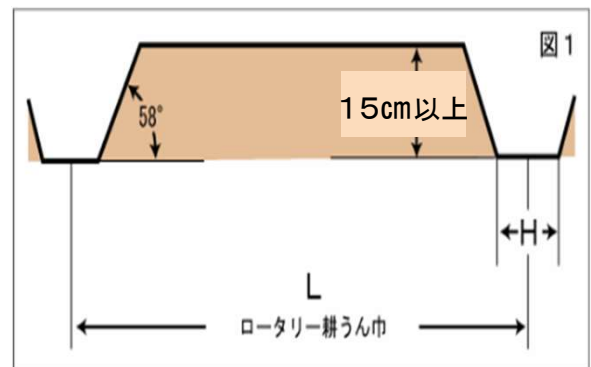
- ・ほ場内に細かく(3m間隔程度)排水溝を掘り、溝の深さをなるべく深く(20cm以上)するなど、少しでも表面排水を強化しましょう。

### ＜畝立て＞

- ・サイドリッジャー等を用いて耕起、播種と同時に簡易のほ場内排水溝を施工し、畝を立てることで播種する位置をなるべく高くしましょう。



(サイドリッジャーによる畝立て)



(播種後の圃場断面)

## 排水対策の失敗事例(補修・改良が必要)

### 崩れによる溝の埋没



### 逆勾配

